

マンモグラフィ装置が 新しくなりました。

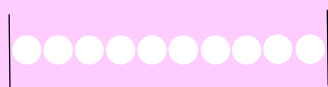


装置は唯一国産であるキャノンの【Pe·ru·ru】になります。

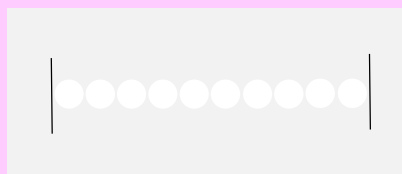
日本の女性は欧米の女性にくらべ年齢を重ねても乳腺が退縮しない傾向の為、マンモグラフィの画像ではコントラスト（白黒の差）がはっきりしないことがあります。この装置は日本人特有の問題を踏まえたつくりになっているのが特徴です。

写真の綺麗さがハイビジョンから 4K へ

装置が新しくなって一番変わったのは画像の解像度（写真の綺麗さ）です。テレビやスマホで解像度という言葉も良く耳にするようになりました。この解像度が重要になってくるのが、マンモグラフィです。マンモグラフィの写真では 0.1mm にも満たない乳腺の石灰化を見る必要があります。これを見るには 1mm の中に小さな円を 10 個並べて数えられるぐらいの解像度が必要です。また薄い灰色の中にある白い粒を見つけられることも求められます。



1mm の幅に 10 個の円



コントラストの差も重要

日本人女性のがん罹患率 1 位は乳がん

御存じの方も多いと思いますが、日本人女性のがん罹患率 1 位は乳がんになっています。この背景には乳がん検診が広く知れ渡ったこと、乳がん検診の受診率が上がっていることがあります。しかし、ここ数年ではその受診率も伸びていないのが現状です。さらに新型コロナウイルスによる受診控えの影響などもありマンモグラフィを受ける方が少なくなる傾向があります。

	1 位	2 位	3 位	4 位
総数	大腸	胃	肺	乳房
男性	前立腺	胃	大腸	肺
女性	乳房	大腸	肺	胃

がん罹患率順位 (2018 年) 国立がん研究センターより

装置の更新をきっかけに乳がん検診を！

がん罹患率 1 位の乳がんですが、5 年生存率が高いことも知られています。早期発見をすれば完治することも可能です。それにはやはり定期的な検査が必要になります。マンモグラフィを一度も受けたことが無い方はもちろん、少し期間が空いてしまった方も今回の装置更新を機に是非乳がん検診を受けてください。